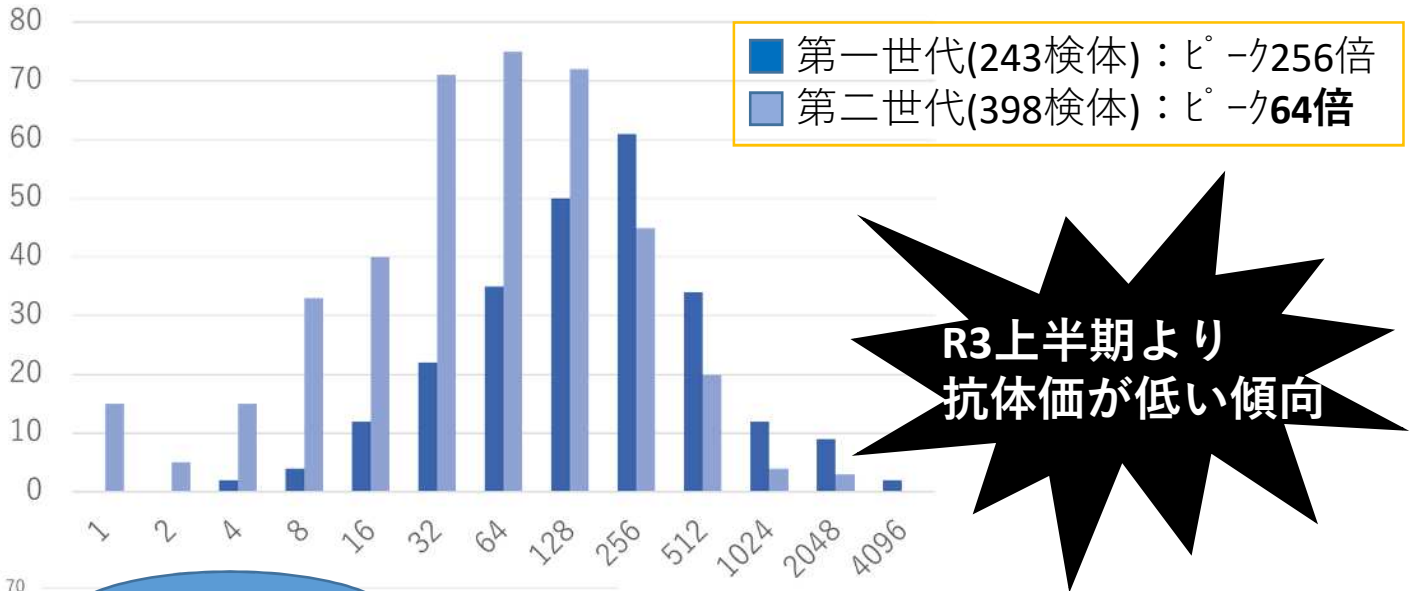




# 【豚熱】東三河管内における 母豚中和抗体価分布について（R3下半期）

令和3年10月～令和4年3月にかけて採血を実施した、当所管内3市における母豚の中和抗体価の分布について世代（産歴）ごとの結果を共有します。  
※縦軸：検体数 横軸：中和抗体価

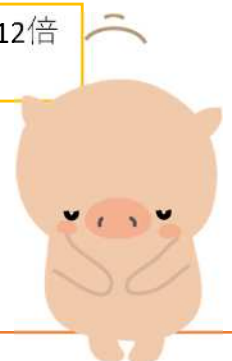


**R3上半期より  
抗体価が低い傾向**



参考：上半期

■ 第一世代(275検体)：ピーク128～512倍  
■ 第二世代(202検体)：ピーク128倍



**【第一世代】**  
免疫（ワクチン抗体）を保たないままさらな状況で接種された初回接種母豚。  
県内で概ね5産以上の個体で、第二世代より、抗体価が高い傾向。

**【第二世代（以降）】**  
第一世代から生まれ、移行抗体存在下で接種された母豚。県内で概ね1～4産の個体。  
※R3年度下半期時点の区分

**❁ ワクチン接種日齢は40日齢を越えないようにしてください！**

例) 隔週接種の場合、接種日齢の範囲は × 30～44日齢  
→ **○ 24～38日齢**

**❁ 抗体価の分布は農場ごとに傾向が異なるため、検査についてご希望の方は、東部家保までご相談下さい。**